

論点等説明シート

| | | | |
|------------|--|-------|-----|
| 事業名 | 円滑な出入国の環境整備 | 担当部局庁 | 観光庁 |
| 事業についての論点等 | | | |
| 事業の背景・目的等 | <p>「明日の日本を支える観光ビジョン」において、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年には6,000万人という目標が掲げられているところ、ストレスフリーで快適な旅行環境の実現のため、世界最高水準の技術を活用した革新的な入国審査を実現することにより、旅客の待ち時間の短縮を図るもの。</p> <p>具体的には、顔認証ゲート及びバイオカートを活用することにより、出入国審査手続の迅速化を図るとともに、世界最高水準の技術を活かし、従来の指紋取得及び照合技術を一新した個人識別情報システムを活用した上陸審査の実施により、入国審査場における手続の円滑化・厳格化を図るもの。</p> | | |
| 論 点 | <p>①経費の大半が国庫債務負担行為や随意契約となっているが、契約方法を見直し、より、効率的に整備を進める余地はないのか。</p> <p>②ポストコロナ時代を見据え、審査待ち時間20分以内の達成率をさらに向上させていくために、今後、どのように機器整備を進めていくのか。</p> <p>③顔認証ゲートやバイオカートを運用するためのイミグレーションアテンダントに要する経費を圧縮する余地はないのか。</p> | | |